

(2) 被害状況

- **人的被害** (平成29年11月14日現在)
 - 死者 : **79人** (直接死6人 間接死73人) (県全体死者数 250人)
 - 重傷者 : **755人** (県全体重傷者数 1,165人)
- **住家被害(り災証明交付件数)** (平成29年10月13日現在)
 - 全壊 : **5,755棟**
 - 大規模半壊 : **8,947棟**
 - 半壊 : **38,734棟**
 - 一部損壊 : **81,000棟**
 - 合計 : **134,426棟**
- **被害額(試算)** (平成28年8月31日時点の推計) **1兆6,363億円** (県全体4.6兆円)
- ◆ **電気** 68,600戸停電 ⇒ 4月18日午後復旧
- ◆ **水道** ・水源地等停止**96箇所** ⇒ 4月30日通水完了
・管路破損による**断水**
- ◆ **ガス** ・105,000戸供給停止 ⇒ 4月30日復旧完了

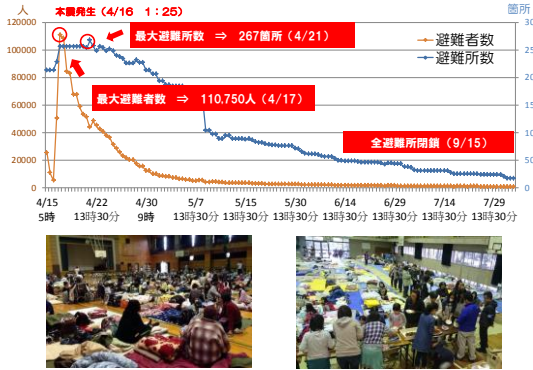
(3) 被害額 (試算)

平成28年8月31日時点

区分	主な内容	被害額
1 医療・福祉施設	医療施設、介護・福祉施設等	456.5 億円
2 水道施設	水道施設、工業用水道等	26.6 億円
3 公共土木施設	河川、道路橋りょう、公園、下水道	244.2 億円
4 農林水産関係	農林水産関係施設、農作物、農地等	187.5 億円
5 文教施設	学校、社会教育施設等	302.2 億円
6 その他の公共建築物等	庁舎、市営住宅、産業施設、市場等	78.2 億円
7 商業物産関係	商業物産関係施設、商業物産関係費用	443.1 億円
8 臨工関係	製造業、修繕業、修繕費(建物被害)	1,720.0 億円
9 文化財	国・県・市指定文化財、非指定文化財	784.1 億円
10 建築物(住宅関係)	住宅、旅館、ホテル	12,121.5 億円
計		16,962.9 億円

- 項目ごとに市内の市所管施設等(※1)及び民間の被害額を試算したもの。
- 平成28年8月31日時点の推計であり、今後金額には変動がある。(14 農林水産関係)は9月8日時点の県への報告額)
- 15 文教施設については、市内の大学、県立高校を除く。
- 18 商工関係)の被害額は、サンプル調査に基づき推計したもの。
- 10 建築物(住宅関係)の被害額は、被災家屋数等から推計したもの。
- 市内の公共交通機関(市電除く)、電気、ガス、高速道路等被害額は現時点で未調査。
- (※1)一部国・県の所管施設が含まれる。

(4) 避難者・避難所数の推移



4

行政側のさまざまな対応



5

【実情！】

- ほぼ全職員初めて経験する事態に**動揺**
- 職員の**安否不明**、参集状況もよくわからない
- 次から次へ**殺到する電話**対応でパンク状態
- **役に立たない**対応マニュアル

【痛感したこと！】

突然、大地震に襲われた直後の市役所は

- 本庁舎・区役所にも多くの避難者が押し寄せる
- 何をどう対応するか体制づくりに数日間混乱が続く

通常業務機能の停止に陥る

6

【問題】職員中心の避難所運営体制の限界

- ・ 職員の日替わり交代制による情報共有不足や避難者との信頼関係
- ・ 多様な問題、トラブル対応に24時間対応する職員の疲弊
- ・ 職員のスキルも対応もバラバラな避難所運営による不満
- ・ 職員頼みの避難所運営形態

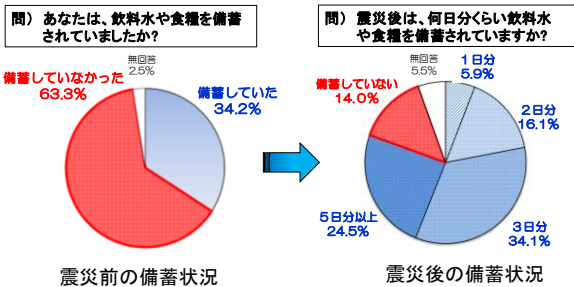


【改善策】 避難所に従事する職員の固定化

尚、自治会、地域、ボランティアそして避難者自身が中心となり運営した避難所は概ね順調

7

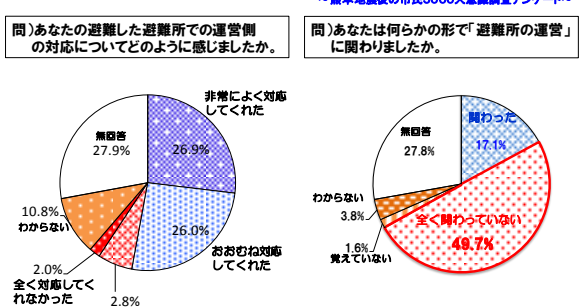
◆災害に対する危機管理意識の変化 自助



- ★ 備蓄している人 ... 34.2% から **80.6%** へ
- ★ 備蓄していない人 ... 63.3% から **14.0%** へ

8

◆市民による避難所運営 共助



◆「お互い様の精神」で出来ることで避難所運営に参加

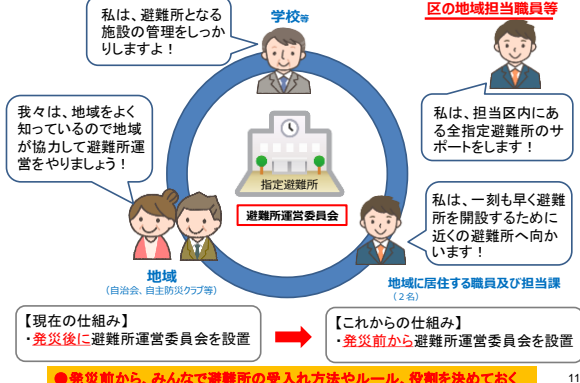
9

例えば、災害時に地域の方々と力を合わせて対応するために



10

災害時の避難所運営に向けた仕組みづくり 共助・公助



11

復興に向けて ～ 経験を糧に 教訓を胸に～

【災害時に欠かすことができない**三助**】

- 自分の身は、**自分で守る**
- 一大事は、みんなで**助け合う**
- 市役所は、被災者の**救助・支援**をする

しかし、三助それぞれにも限界がある

災害対応のキーワードは

～**市民・地域・行政の力を結集**～